



平成20年11月14日

各 位

会社名 株式会社紀陽ホールディングス
 代表者名 取締役社長 片山博臣
 (コード番号 8415 東証・大証第1部)
 問合せ先 常務取締役グループ企画部長
 米坂 享
 (TEL 073 - 426 - 7133)

平成21年3月期中間配当の見送り及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、平成21年3月期の中間配当の実施を見送ること、及び期末配当の予想を下記の通りに変更することを決議しましたのでお知らせいたします。

記

1. 修正理由

当社では、当初、平成21年3月期の業績を、過去最高益を記録した前期と同程度の連結当期純利益となることを見込み、普通株式の配当金を年間3円から年間4円へ増配することを予定しておりました。

しかしながら、子銀行である株式会社紀陽銀行における有価証券減損処理などにより、本年10月6日に連結業績予想を下方修正した後も、世界的な金融市場の混乱が続く、株式会社紀陽銀行の保有有価証券の含み損が更に拡大しておりますことから、この処理にかかる費用などを織り込み、本日、再度平成21年3月期の連結業績予想を下方修正することといたしました。

本日の修正後も、連結当期純利益は43億円計上できるものと見込んでおりますが、当初予想からは大きく乖離しておりますので、誠に遺憾ではございますが、普通株式の増配を見送り、年間配当金を3円に据え置かせていただくことといたしました。

また、現在のような不透明感が強い状況を勘案し、中間配当を見送り、期末一括の配当に変更させていただくことといたしました。

2. 修正の内容

(1) 普通株式

(基準日)	1株当たり配当金		
	中間期末	期 末	年 間
前回発表予想(平成20年5月14日公表)	円 銭 2 00	円 銭 2 00	円 銭 4 00
今回修正予想	—	3 00	3 00
当中間期実績	0 00	—	—
(ご参考)前年実績(平成20年3月期)	0 00	3 00	3 00

(2) 種類株式

(基準日)	1株当たり配当金		
	中間期末	期 末	年 間
	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想(平成20年5月14日公表)			
第一種優先株式	7 00	7 00	14 00
第4回第一種優先株式	7 50	7 50	15 00
第二種優先株式	5 00	5 00	10 00
今回修正予想			
第一種優先株式	—	14 00	14 00
第4回第一種優先株式	—	15 00	15 00
第二種優先株式	—	10 00	10 00
当中間期実績			
第一種優先株式	0 00	—	—
第4回第一種優先株式	0 00	—	—
第二種優先株式	0 00	—	—
(ご参考)前年実績(平成20年3月期)			
第一種優先株式	0 00	14 00	14 00
第4回第一種優先株式	0 00	14 00	14 00
第二種優先株式	0 00	10 00	10 00

(注) 第4回第一種優先株式は、市場金利に連動し、年間配当額が決定されます。

以 上